

# 旅

一生の内に何度旅をするのだろうか

親からの旅

友人からの旅

恋人からの旅

連れ合いからの旅

そして子供らからの旅

老いた連れ合いからの旅と

無数の別れと旅を繰り返すたびに

自分の輪郭が見えて来る

別れを告げたい相手よりも

何も優れていない自分の輪郭が

はつきりと見えてくる

別れと旅への衝動が

自分を輝かせるかどうかの不安さへ

見えない時こそ旅の意味が

虹のように空にかかる

別れと旅の瞬間が

針のように痛く

真綿のように温かい只中で

自分が生きているのを

何かを作り出しているのを

告げる何かを見据えているのだ

(2008.5.17)